

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		医療秘書・情報学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名		臨床医学各論Ⅳ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員		笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》							
精神疾患は地域医療計画で定めがある5疾病で最後に指定された疾患です。 つまり近年において患者が増え、重点治療対象とされています。 疾病の概要をしっかりと理解しましょう。							
《成績評価の方法と基準》							
平常点1割、出席点2割、試験7割							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
診療情報管理テキスト 1章「医療概論」 日本病院会 編 パワーポイントを用いた視覚資料併用 授業終了前、確認小テスト実施							
《授業外における学習方法》							
関心のあるテーマについて、専門雑誌や文献などを使って勉強すること。 指定した教科書を事前に読んでおくこと。 毎回授業終了前、授業内容理解の確認のため小テストを実施するので、授業は集中して聞いておくように。							
《履修に当たっての留意点》							
神経系や中枢系の名称が多く出てくるため、教科書を繰り返し読み返すこと。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症や精神、神経疾患について概要を説明できる。		教科書、パワポ、授業終了前、確認小テスト実施	教科書範囲を事前に読んでおく。 授業内容を復習する。	
		各コマにおける授業予定	4大認知症、双極性障害、統合失調症などについて理解する。				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の基礎、中枢神経・末梢神経を説明できる。		教科書、パワポ、授業終了前、確認小テスト実施	教科書範囲を事前に読んでおく。 授業内容を復習する。	
		各コマにおける授業予定	中枢神経系の疾患について理解する。				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の難病を説明できる。		教科書、パワポ、授業終了前、確認小テスト実施	教科書範囲を事前に読んでおく。 授業内容を復習する。	
		各コマにおける授業予定	進行性筋ジストロフィー、パーキンソン病、水頭症などについて理解する。				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脈絡膜、網膜の疾患を説明できる。		教科書、パワポ、授業終了前、確認小テスト実施	教科書範囲を事前に読んでおく。 授業内容を復習する。	
		各コマにおける授業予定	網膜剥離、緑内障について理解する。				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼筋、聴覚障害、炎症系の疾患を説明できる。		教科書、パワポ、授業終了前、確認小テスト実施	教科書範囲を事前に読んでおく。 授業内容を復習する。	
		各コマにおける授業予定	斜視、化膿性中耳炎、メニエール病などの概要について理解する。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	耳疾患について説明できる。	教科書、パワポ、授業終了前、確認小テスト実施	教科書範囲を事前に読んでおく。 授業内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	突発性難聴、耳硬化症について理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの授業のポイントを理解することができる。		- 教科書範囲、授業プリントの内容を復習する。 - 小テストの内容をよく覚えておく。
		各コマにおける授業予定	テスト		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			